



東葉警備保障株式会社

URL <http://toyo-security.jp>

発行日 2023年4月吉日

私は千葉県柏市で生活安全産業の一翼を担うべく、警備会社を展開する会社経営者です。ぜひ、新卒高校生の方々に当社の門をたたいて頂きたく、先生方、学校関係者の皆様に日頃から、経営者として思うこと、感じていることを綴ります。文化・芸能・教育・社会・経済・企業の問題を一緒に考えていきたいです。当紙の題名は私の人生訓であり、モットーでもあります。

## 「サービスしますよ。」はタダではない

私たちはいつの間にか「人の手間」にはお金を払わない妙な思考が身についてしまったようです。商品代は支払っても、それに伴う運送費や設置代を「サービスしてよ」と平気で口にします。そこで使う「サービス」とは値段を下げてください、ではなく労務・仕事をタダでやってくれの意で使うことがほとんどです。

「送料無料」「手数料無料」のフレーズが消費者の負担感を隠すために使われているとしても、倉庫から玄関先まで荷物を運ぶドライバーが無給で働かされているものではありません。生産性向上の成果がデフレ社会を延命させてきたことへの矛盾を一気に修正する動きと解釈するならば、直近の生活物資の値上げラッシュにも一定の理解が得られると思います。

企業経営者はサービス原価を下げることに莫大な費用と労力を使ってきました。モノを低価格で提供するチカラこそ競争力の根源だと信じてやってきました。しかしこの発想とは決別しないとイケないのです。今、日本の経営者に求められていることは、商品価格を引き上げ、賃金を引き上げ、人にしか出来ない仕事こそ高賃金で報いるサイクルを会社経営の中で成立させることです。

40年前、日本の自動車工場を視察した海外自動車メーカーの視察団が無人化された製造レーンから完成車がつぎつぎ出てくるのを見て「日本人がまたおかしなことを始めた」と感想を漏らしたといひます。40年前以前のほうが今より労働の対価が正当だったと思えてならないのです。当社ではこの3月から賃上げ・インフレ手当支給に取り組んでいます。



当社では毎年、たくさんの高卒生を迎え入れております。ひとりでも多くの若い力を大切に育て上げたい。会社を通して彼らの人間形成の役に立ちたいと存じます。ぜひとも、大切な生徒様の進路候補先に当社を加えてください。新年度も、東葉警備保障株式会社をどうぞよろしくお願い申し上げます。

松本 隆一郎